

### (3) 九州工業大学大学院情報工学府学修細則

平成3年4月1日  
九工大情報工学府細則第5号  
最終改正 令和4年1月26日九工大情報工学府細則第1号

#### (目 的)

第1条 この細則は、九州工業大学学則（平成19年九工大学則第1号。以下「学則」という。）の規定に基づき、九州工業大学大学院情報工学府（以下「学府」という。）の授業科目、単位数及び履修方法等について、必要な事項を定めることを目的とする。

#### (授業科目及び単位数)

第2条 学府における各専攻の授業科目及び単位数は、別表1のとおりとする。

#### (1単位あたりの授業時間)

第2条の2 授業科目の1単位あたりの授業時間は、次の基準によるものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間

2 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により行う場合は、その組み合わせに応じ、前項各号に規定する基準を考慮して定める時間の授業をもって1単位とする。

3 前2項の規定にかかわらず、学位論文の作成に関する授業科目を設定する場合において、これらの学修の成果を評価して単位を与えることが適切と認められる場合には、必要な学修等を考慮して、単位数を定める。

#### (履修基準)

第3条 学生は、別表2に定める基準に従って、所定の単位を履修しなければならない。

#### (指導教員)

第4条 学生は、主指導教員及び副指導教員で構成される指導教員グループから、授業科目の履修及び学位論文作成等の指導（以下、「研究指導」という。）を受けるものとする。

2 研究指導の体制に関して必要な事項は、別に定める。

#### (履修計画及び履修方法)

第5条 学生は、主指導教員の指導により、当該年度において履修しようとする授業科目を決定し、主指導教員の承認を得て、所定の期日までに、履修申告しなければならない。なお、所定の期日までに届出ることにより、履修登録を取り消すことができる。

2 主指導教員が教育上有益と認めるときは、学生は、入学後に新たに開講された授業科目を履修することができるものとし、開講年度における科目の区分に従い、修了に必要な単位として取り扱うことができるものとする。

3 主指導教員が教育上有益と認め、選択した専門深化プログラムのコースに含まれない授業科目を履修する場合にあっては、情報工学府教授会（以下「教授会」という。）の審議を経て、2単位を限度として当該プログラムの修了要件単位に含めることができるものとする。

4 工学府又は生命体工学研究科（以下「他の学府等」という。）の授業科目の履修を希望する学生は、他の学府等の履修申告期間内に主指導教員の承認を得て、所定の受講願を情報工学部事務部に提出しなければならない。

5 学則第55条第1項の規定により、主指導教員が教育上有益と認めるときは、他の大学院の授業科目を履修し、教授会の審議を経て、2単位を限度として修了要件単位に含めることができる。

6 学則第56条第2項の規定により、主指導教員が教育上有益と認めるときは、教授会の審議を経て、入学前に修得した単位を博士前期課程においては15単位（転入学の場合を除く。）、博士後期課程においては2単位（転入学の場合を除く。）を限度として、修了要件単位に含めることができる。

7 主指導教員が教育上有益と認めるときは、所定の手続きにより、情報工学部の授業科目を履修す

ることができる。

8 第4項及び第5項の規定により、授業科目を履修し、修得したもののうち修了要件に含めことができる単位は、学則第56条で定められた入学前の既修得単位に関する規定により単位認定された単位数と合わせて20単位を超えない範囲とする。

9 学生は、各学期について、合計が16単位を超える単位数の授業科目を履修申告することはできない。ただし、集中講義又はそれに準ずる形態で実施される授業科目及び別表2に定める「講究、実験演習及び指導型演習」は、この単位数の上限に含めない。10 前項の規定にかかわらず、学生が16単位を超える授業科目の履修を希望し、かつ、主指導教員が教育上有益であると認めて許可する場合、学生は、所定の手続きにより、16単位を超える授業科目を履修することができる。11 学則第55条第2項の規定により、主指導教員が教育上有益と認めるときは、教授会の審議を経て、他の大学院又は研究所等において研究指導を受けることができる。ただし、博士前期課程の学生について認める場合には、当該研究指導を受ける期間は、1年を超えないものとする。

(長期にわたる教育課程の履修)

第5条の2 九州工業大学大学院長期履修規程(令和3年九工大規程第11号)第2条の規定により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。

2 九州工業大学大学院長期履修規程第6条に規定する長期履修期間の短縮に関し必要な事項は、別に定める。

(学位論文の提出)

第6条 学生は、主指導教員の承認を得て、所定の期日までに情報工学府長(以下「学府長」という。)を経て学位論文を学長に提出しなければならない。

2 学位論文は、課程の修了に必要な単位を修得した者又は修得見込みの者でなければ提出することができない。

(成績の評価及び単位の授与)

第7条 授業科目の試験の成績は100点満点で評価し、60点以上を合格、60点未満を不可とする。

2 合格した科目の成績を評語で表示する場合には、次の基準によるものとする。

(1) 秀又はA 90～100点 達成目標を十分に達成し、極めて優秀である

(2) 優又はB 80～89点 達成目標を十分に達成している

(3) 良又はC 70～79点 達成目標を達成している

(4) 可又はD 60～69点 達成目標を最低限度達成している

(5) 不可又はF 0～59点 達成目標を達成していない。

3 授業科目を履修の上、当該授業科目の授業時間数の3分の2以上出席し、かつ試験に合格した者に所定の単位を与える。

4 第2条の2第3項に規定する授業科目については、適切な方法により学修の成果を評価して単位を与えることができる。

5 学生は、成績評価に対して不服がある場合は、別に定めるところにより、確認及び異議を申し立てることができる。

6 既修得単位の取消し及び更新はできない。

7 成績評価に用いられた資料(提出レポート等)は、成績評価の妥当性を必要に応じて検証するための基礎資料として、国立大学法人九州工業大学法人文書管理規程(平成23年九工大規程第9号)別表第1備考第5項の規定により保存期間5年の文書として取り扱う。

(GPAによる総合成績の評価)

第7条の2 学生の総合的な成績は、GPA(Grade Point Average)を用いて評価する。

2 GPAは、学生が履修した全ての授業科目について、評価点(Grade Point)をつけ、この評価点を各々の授業科目の単位数による加重をつけて平均した値である。成績評価を評価点に換算する場合は、次の基準に従う。

90点～100点	4.0
85点～89点	3.5
80点～84点	3.0
75点～79点	2.5
70点～74点	2.0
65点～69点	1.5
60点～64点	1.0
0点～59点	0

3 第5条第6項及び学則第56条の規定により単位認定された授業科目並びに修了要件に加算されない授業科目は、GPAの計算の対象には含めない。

4 同じ授業科目を異なる年度にわたって複数回履修した場合、各々の履修年度における授業科目の評価点がGPAの計算の対象となる。

(最終試験)

第8条 最終試験は、学位論文を提出した者に対して行い、学位論文を中心として、これに関連する事項について口頭又は筆答により行う。

(学位論文及び最終試験の評価)

第9条 学位論文の審査及び最終試験の成績の評価は、合格及び不合格をもって表示するものとする。

(再審査及び再試験)

第10条 学位論文の審査及び最終試験に不合格になった者は、教授会の審議を経て、学府長の承認を得たうえで、再審査及び再試験を受けることができる。

(教育職員免許状の取得)

第11条 学生は九州工業大学情報工学部学修細則（平成8年九工大細則第8号。以下「学部細則」という。）第18条に定める教職課程の授業科目を履修することができる。ただし、それにより修得した単位は、課程修了に必要な単位には含めない。

(試験における不正行為)

第12条 試験において不正行為を行った学生に対しては、学部細則第26条の規定を準用する。

#### 附 則（最終改正分）

1 この細則は、令和4年4月1日から施行する。

2 この細則の施行日前に入学した学生については、なお従前の例による。

別表 1 (第 2 条関係)

## 大学院情報工学府博士課程履修課程表

## 1. 基礎科目

区分	科目名	教育職員	単位	博士後期課程	備考
情報工学プログラム	情報数学特論	坂本比呂志	2	○	
	暗号数学特論	佐藤好久	2	○	
	統計的データ解析特論	本田あおい	2	○	
	最適化アルゴリズム論	宮野英次	2	○	
	数学基礎特論	乃美正哉	2	○	
	代数的組合せ論 I	田上真	1	○	
	代数的組合せ論 II	田上真	1	○	
	動画像処理基礎	榎田修一	1	○	注:「動画像処理基礎」または「動画像処理特論 RO、SC、AM、CR」のいずれかのみ単位修得可
	応用線形代数	瀬部昇	1	○	
	物理数学概論	木内勝	2	○	
	電磁気学特論	河野晴彦	2	○	
	確率数値解析特論	小守良雄	2	○	
	Computational Security: Basic Topics	ケッペン マリオ	1	○	
	Computational Security: Advanced Topics	ケッペン マリオ	1	○	
ネットワーク解析特論	竹本和広	2	○		
機械学習特論: 理論とアルゴリズム	西郷浩人	2	○		

## 2. 対象分野科目

## (1) 専門深化プログラム

区分	科目名	教育職員	単位	博士後期課程	備考
データ科学コース	圧縮情報処理特論 DS	井智弘	2		
	離散アルゴリズム特論 DS	斎藤寿樹	2		
	イメージ解析特論 DS	徳永旭将	2		
	統計的機械学習特論 DS	本田あおい 徳永旭将	2		
	位相的データ解析特論 DS	佐藤好久	2		
	検索アルゴリズム論 DS	下蘭真一	2		
	知能情報演習 DS	齊藤剛史ほか	1		演習科目
	人工知能特論 DS	平田耕一	2		
	自然言語処理特論 DS	嶋田和孝	2		
	確率的最適化理論 DS	二反田篤史	2		
	画像認識特論 DS	齊藤剛史	2		

区分	科目名	教育職員	単位	博士後期課程	備考
人工知能コース	人工知能特論 AI	平 田 耕 一	2		
	自然言語処理特論 AI	嶋 田 和 孝	2		
	算法表現特論 AI	中 村 貞 吾	2		
	思考モデリング AI	國 近 秀 信	2		
	統計的機械学習特論 AI	本 田 あおい 徳 永 旭 将	2		
	知能情報演習 AI	齊 藤 剛 史 ほか	1		演習科目
	確率的最適化理論 AI	二反田 篤 史	2		
	圧縮情報処理特論 AI	井 智 弘	2		
	離散アルゴリズム特論 AI	斎 藤 寿 樹	2		
	イメージ解析特論 AI	徳 永 旭 将	2		
	位相的データ解析特論 AI	佐 藤 好 久	2		
	検索アルゴリズム論 AI	下 蘭 真 一	2		
	コンピュータショナルフォトグラフィ特論 AI	岡 部 孝 弘	2		
	仮想空間論 AI	碓 崎 賢 一	2		
	画像認識特論 AI	齊 藤 剛 史	2		
	マルチメディア工学特論 AI	乃 万 司	2		
	コンピュータアニメーション特論 AI	尾 下 真 樹	2		
高機能メディア工学特論 AI	新 見 道 治	2			
メディア情報学コース	コンピュータショナルフォトグラフィ特論 MI	岡 部 孝 弘	2		
	仮想空間論 MI	碓 崎 賢 一	2		
	画像認識特論 MI	齊 藤 剛 史	2		
	マルチメディア工学特論 MI	乃 万 司	2		
	コンピュータアニメーション特論 MI	尾 下 真 樹	2		
	高機能メディア工学特論 MI	新 見 道 治	2		
	知能情報演習 MI	齊 藤 剛 史 ほか	1		演習科目
	確率的最適化理論 MI	二反田 篤 史	2		
	圧縮情報処理特論 MI	井 智 弘	2		
	離散アルゴリズム特論 MI	斎 藤 寿 樹	2		
	イメージ解析特論 MI	徳 永 旭 将	2		
	統計的機械学習特論 MI	本 田 あおい 徳 永 旭 将	2		
	位相的データ解析特論 MI	佐 藤 好 久	2		
	検索アルゴリズム論 MI	下 蘭 真 一	2		
	人工知能特論 MI	平 田 耕 一	2		
	自然言語処理特論 MI	嶋 田 和 孝	2		
	算法表現特論 MI	中 村 貞 吾	2		
思考モデリング MI	國 近 秀 信	2			

区分	科目名	教育職員	単位	博士後期課程	備考	
ソフトウェアデザインコース	プロジェクトマネジメント演習 SD	片 峯 恵 一 梅 田 政 信 朝 稲 啓 太	2		演習科目	
	ビジネス・人・社会のモデリング SD	中 谷 多 哉 子	2			
	ソフトウェアアーキテクチャ SD	吉 田 隆 一	2			
	関数プログラミング	江 本 健 斗	2			
	プログラミング言語と処理系特論	八 杉 昌 宏	2			
	クラウドコンピューティング	光 來 健 一	2		注:プロジェクトマネジメント演習 SD、ビジネス・社会のモデリング SD、ソフトウェアアーキテクチャ SD、関数プログラミング、プログラミング言語と処理系特論、クラウドコンピューティング から 2科目 4単位以上修得すること	
	ネットワークデザイン SD	川 原 憲 治	2			
	ネットワークマネジメント SD	鶴 正 人	2			
	ハードウェア・ソフトウェア協調設計SD	黒 崎 正 行	2			
	ディペンダブルシステム SD	梶 原 誠 司	2			
情報・通信プロジェクト演習 SD	久 代 紀 之 ほか	1		演習科目		
情報通信ネットワークコース	プロジェクトマネジメント演習 NT	片 峯 恵 一 梅 田 政 信 朝 稲 啓 太	2		演習科目	
	ソフトウェアアーキテクチャ NT	吉 田 隆 一	2			
	ネットワークデザイン NT	川 原 憲 治	2			
	ネットワークマネジメント NT	鶴 正 人	2			
	デジタル通信方式 NT	尾 知 博	2			
	無線モバイルネットワーク	塚 本 和 也	2		注:ネットワークデザイン NT、ネットワークマネジメント NT、デジタル通信方式 NT、無線モバイルネットワークから 2科目 4単位以上修得すること	
	ハードウェア・ソフトウェア協調設計NT	黒 崎 正 行	2			
	情報・通信プロジェクト演習 NT	久 代 紀 之 ほか	1			演習科目
	組込みシステム設計 NT	小 西 直 樹	2			
	ソフトコンピューティング NT	大 西 圭	2			
Dependable AI Accelerator Hardware in Autonomous Systems NT	ホルスト シュテファン	2				
コンピュータ工学コース	ビジネス・人・社会のモデリング CE	中 谷 多 哉 子	2		注:ディペンダブルシステム CE、LSIバックエンド設計、高信頼 LSI 設計、組込みシステム設計 CE から 2科目 4単位以上修得すること	
	ハードウェア・ソフトウェア協調設計 CE	黒 崎 正 行	2			
	情報・通信プロジェクト演習 CE	久 代 紀 之 ほか	1			演習科目
	デジタル通信方式 CE	尾 知 博	2			
	ディペンダブルシステム CE	梶 原 誠 司	2			
	LSI バックエンド設計	宮 瀬 紘 平	2			
	高信頼 LSI 設計	温 暁 青	2			
	組込みシステム設計 CE	小 西 直 樹	2			
	光信号処理	李 旻 哲	2			
	ソフトコンピューティング CE	大 西 圭	2			
	Dependable AI Accelerator Hardware in Autonomous Systems CE	ホルスト シュテファン	2			
	システム LSI 設計論 CE	中 村 和 之	2			
マイクロシステム特論 CE	馬 場 昭 好	2				

区分	科目名	教育職員	単位	博士後期課程	備考
ロボティクスコース	ロボット工学総合演習 I	榎 田 修 一	1		演習科目
	ロボティクス設計特論 RO	林 英 治	2		注:【「ロボ」が機構・設計及び応用に関する科目群】 ロボティクス設計特論 RO、システムデザイン特論 RO、 群ロボ工学特論 RO、ヒューマン・インターフェース RO から 2科目4単位以上修得すること
	システムデザイン特論 RO	小 林 順	2		
	群ロボット工学特論 RO	藤 澤 隆 介	2		
	ヒューマン・インターフェース RO	大 橋 健	2		
	ロボットセンサ処理特論 RO	田 中 和 明	2		注:【「認知・判断・制御」に関する科目群】 ロボセンサ処理特論 RO、知能ロボ特論 RO、 知的ロボ制御特論 RO、動画像処理特論 RO から2科目4単位以上修得すること
	知能ロボット特論 RO	小 林 啓 吾	2		
	知的ロボット制御特論 RO	大 竹 博	2		
	動画像処理特論 RO	榎 田 修 一	2		注:「動画像処理基礎」または「動画像処理特論 RO」の いずれか一方のみ単位修得可
	現代制御論特論 RO	瀬 部 昇	2		
	ロバスト安定論特論 RO	伊 藤 博	2		
	制御系 CAD 特論 RO	古 賀 雅 伸	2		
	ロバスト制御特論 RO	瀬 部 昇	2		
	非線形システム特論 RO	中 荃 隆	2		
	最適化理論特論 RO	延 山 英 沢	2		
	応用運動学特論 RO	林 朗 弘	2		
	エネルギー原理と有限要素法特論 RO	二 保 知 也	2		
	流体力学特論 RO	測 脇 正 樹	2		
	生産加工学特論 RO	是 澤 宏 之	2		
	トライボロジー特論 RO	畠 中 清 史	2		
	マイクロ流体工学特論 RO	永 山 勝 也	2		
	マイクロデバイス・システム特論 RO	村 上 直	2		
	ナノマイクロエンジニアリング特論 RO	鈴 木 恵 友	2		
	メカトロシステム特論 RO	檜 原 弘 之	2		
	光応用ナノスケール計測特論 RO	カチヨーンルシルアン ・ パ ナ ー ト	2		
	運動とメカニズム RO	伊 藤 高 廣	2		
CAE 特論 RO	石 原 大 輔	2			
バイオデバイス特論 RO	坂 本 憲 児	2			
自動車製造デザイン情報処理特論 I RO	谷 本 雅 俊 岡 田 有 司	2			
自動車製造デザイン情報処理特論 II RO	吹 春 直 森 寛 樹	2			

区分	科目名	教育職員	単位	博士後期課程	備考
システム制御コース	システム制御演習	延山英沢 瀬部昇 古賀雅伸 伊藤博 中茎隆	1		演習科目
	現代制御論特論 SC	瀬部昇	2		注:現代制御論特論 SC、ロバスト安定論特論 SC、 制御系 CAD 特論 SC、ロバスト制御特論 SC、 非線形システム特論 SC、最適化理論特論 SC から 3科目6単位以上修得すること
	ロバスト安定論特論 SC	伊藤博	2		
	制御系 CAD 特論 SC	古賀雅伸	2		
	ロバスト制御特論 SC	瀬部昇	2		
	非線形システム特論 SC	中茎隆	2		
	最適化理論特論 SC	延山英沢	2		
	ロボティクス設計特論 SC	林英治	2		
	システムデザイン特論 SC	小林順	2		
	群ロボット工学特論 SC	藤澤隆介	2		
	ヒューマン・インターフェース SC	大橋健	2		
	ロボットセンサ処理特論 SC	田中和明	2		
	知能ロボット特論 SC	小林啓吾	2		
	知的ロボット制御特論 SC	大竹博	2		
	動画像処理特論 SC	榎田修一	2		注:「動画像処理基礎」または「動画像処理特論 SC」の いずれか一方のみ単位修得可
	応用運動学特論 SC	林朗弘	2		
	エネルギー原理と有限要素法特論 SC	二保知也	2		
	流体力学特論 SC	瀧脇正樹	2		
	生産加工学特論 SC	是澤宏之	2		
	トライボロジー特論 SC	畠中清史	2		
	マイクロ流体工学特論 SC	永山勝也	2		
	マイクロデバイス・システム特論 SC	村上直	2		
	ナノマイクロエンジニアリング特論 SC	鈴木恵友	2		
	メカトロシステム特論 SC	檜原弘之	2		
	光応用ナノスケール計測特論 SC	カチョーンルンアン ・パナート	2		
	運動とメカニズム SC	伊藤高廣	2		
	CAE 特論 SC	石原大輔	2		
バイオデバイス特論 SC	坂本憲児	2			
自動車製造デザイン情報処理特論 I SC	谷岡雅俊 吹春有司	2			
自動車製造デザイン情報処理特論 II SC	吹春寛 森直樹	2			



区分	科目名	教育職員	単位	博士後期課程	備考
先進機械コース	情報機械実践演習 I	各指導教員	1		演習科目
	応用運動学特論 AM	林 朗 弘	2		注:応用運動学特論 AM、エネルギー原理と有限要素法特論 AM、流体力学特論 AM、生産加工学特論 AM、トライボロジー特論 AM、マイクロ流体工学特論 AM、マイクロデバイス・システム特論 AM、ナノクロエンジニアリング特論 AM、マイクロシステム特論 AM、光応用ナノスケール計測特論 AM、運動とメカニズム AM、CAE 特論 AM、バイオデバイス特論 AM、自動車製造デザイン情報処理特論 I、II AM から 4 科目 8 単位以上修得すること
	エネルギー原理と有限要素法特論 AM	二 保 知 也	2		
	流体力学特論 AM	舘 脇 正 樹	2		
	生産加工学特論 AM	是 澤 宏 之	2		
	トライボロジー特論 AM	畠 中 清 史	2		
	マイクロ流体工学特論 AM	永 山 勝 也	2		
	マイクロデバイス・システム特論 AM	村 上 直	2		
	ナノマイクロエンジニアリング特論 AM	鈴 木 恵 友	2		
	メカトロシステム特論 AM	梶 原 弘 之	2		
	光応用ナノスケール計測特論 AM	カチヨーンルンルアン・パナート	2		
	運動とメカニズム AM	伊 藤 高 廣	2		
	CAE 特論 AM	石 原 大 輔	2		
	バイオデバイス特論 AM	坂 本 憲 児	2		
	自動車製造デザイン情報処理特論 I AM	谷岡 本田 雅俊 吹春 有 司	2		
	自動車製造デザイン情報処理特論 II AM	吹 森 直 寛 樹	2		
	ロボティクス設計特論 AM	林 英 治	2		
	システムデザイン特論 AM	小 林 順	2		
	群ロボット工学特論 AM	藤 澤 隆 介	2		
	ヒューマン・インターフェース AM	大 橋 健	2		
	ロボットセンサ処理特論 AM	田 中 和 明	2		
	知能ロボット特論 AM	小 林 啓 吾	2		
	知的ロボット制御特論 AM	大 竹 博	2		
	動画像処理特論 AM	榎 田 修 一	2		注:「動画像処理基礎」または「動画像処理特論 AM」のいずれか一方のみ単位修得可
現代制御論特論 AM	瀬 部 昇	2			
ロバスト安定論特論 AM	伊 藤 博	2			
制御系 CAD 特論 AM	古 賀 雅 伸	2			
ロバスト制御特論 AM	瀬 部 昇	2			
非線形システム特論 AM	中 茎 隆	2			
最適化理論特論 AM	延 山 英 沢	2			

区分	科目名	教育職員	単位	博士後期 課程	備考
電子物理 コース	超伝導応用特論	小田部 莊 司	2		
	電子物性計算科学特論 EP	寺 井 慶 和	2		
	磁気記録工学特論	福 間 康 裕	2		
	機能性材料特論 EP	安 田 敬	2		
	有機エレクトロニクス特論	永 松 秀 一	2		
	光波工学特論 EP	岡 本 卓	2		
	光情報工学特論	高 林 正 典	2		
	非線形現象特論 EP	高 橋 公 也	2		
	情報物性特論 EP	許 宗 焄	2		
	マイクロ・ナノシステム技術特論 EP	福 間 康 裕	1		演習科目
	バイオ・ソフトマター特論 EP	松 山 明 彦	2		
	生体機能情報特論 EP	入 佐 正 幸	2		
	デジタル画像処理特論 EP	安 永 卓 生	2		演習科目
	ナノデバイス特論 EP	新 海 聡 子	2		
生物物理 コース	電子物性計算科学特論 BP	寺 井 慶 和	2		
	機能性材料特論 BP	安 田 敬	2		
	光波工学特論 BP	岡 本 卓	2		
	非線形現象特論 BP	高 橋 公 也	2		
	情報物性特論 BP	許 宗 焄	2		
	マイクロ・ナノシステム技術特論 BP	福 間 康 裕	1		演習科目
	バイオ・ソフトマター特論 BP	松 山 明 彦	2		
	生体機能情報特論 BP	入 佐 正 幸	2		
	デジタル画像処理特論 BP	安 永 卓 生	2		演習科目
	構造生物学特論 BP	安 永 卓 生	2		
	医用化学工学特論 BP	前 田 衣 織	2		
	定量生物学特論 BP	森 本 雄 祐	2		
	生命物理化学特論 BP	小 松 英 幸	2		
	システムバイオロジー特論 BP	倉 田 博 之	2		
	バイオインフォマティクス演習 BP	矢 田 哲 士	1		演習科目
ナノデバイス特論 BP	新 海 聡 子	2			

区分	科目名	教育職員	単位	博士後期 課程	備考
分子生命工学コース	生体機能情報特論 LE	入 佐 正 幸	2		
	構造生物学特論 LE	安 永 卓 生	2		
	医用化学工学特論 LE	前 田 衣 織	2		
	定量生物学特論 LE	森 本 雄 祐	2		
	生命物理化学特論 LE	小 松 英 幸	2		
	バイオインフォマティクス演習 LE	矢 田 哲 士	1		演習科目
	生命化学特論 LE	坂 本 寛	2		
	分子細胞生物学特論 LE	北 田 栄	2		
	ゲノム生物学特論 LE	花 田 耕 介	2		
	電磁波化学特論	大 内 将 吉	2		
	マイクロバイーム特論 LE	前 田 憲 成	2		
	コンピューテーショナルゲノミクス特論 LE	矢 田 哲 士	2		
	バイオイメージング特論	末 田 慎 二	2		
	医用情報工学特論 LE	引 間 知 広	2		
細胞情報伝達演習 LE	青 木 俊 介	1		演習科目	
医用生命工学コース	定量生物学特論 ML	森 本 雄 祐	2		
	システムバイオロジー特論 ML	倉 田 博 之	2		
	バイオインフォマティクス演習 ML	矢 田 哲 士	1		演習科目
	生命化学特論 ML	坂 本 寛	2		
	分子細胞生物学特論 ML	北 田 栄	2		
	ゲノム生物学特論 ML	花 田 耕 介	2		
	マイクロバイーム特論 ML	前 田 憲 成	2		
	コンピューテーショナルゲノミクス特論 ML	矢 田 哲 士	2		
	生命情報工学特論	倉 田 博 之	2		
	システム神経行動学特論	中 川 秀 樹	2		
	脳科学特論	夏 目 季 代 立 野 勝 義 大 坪 久 巳 孝	2		
	医薬情報学特論	山 西 芳 裕	2		
	創薬ケモインフォマティクス特論	青 木 俊 介	2		
	医用情報工学特論 ML	引 間 知 広	2		
細胞情報伝達演習 ML	青 木 俊 介	1		演習科目	

## (2) GE プログラム

区分	科目名	教育職員	単位	博士後期課程	備考	
GE プログラム	科学技術日本語	許 宗 焄	1	○	留学生用科目	
	日本語 I	平 田 裕 子	1	○	〃	
	日本語 II	平 田 裕 子	1	○	〃	
	英語 VII A	後 藤 方 里 子 長 瀬 真 理 子	1	○	上級語学科目 (GE コース科目)	
	英語 VII D	長 瀬 真 理 子	1	○	〃	
	英語 VIII B	田 島 健 太 郎	1	○	〃	
	英語 VIII D	鈴 木 一 生	1	○	〃	
	英語 IX B	田 島 健 太 郎	1	○	〃	
	英語 IX D	後 藤 万 里 子	1	○	〃	
	英語 X A	後 藤 方 里 子 長 瀬 真 理 子	1	○	〃	
	英語 X B	長 瀬 真 理 子 長 瀬 真 理 子 田 島 健 太 郎	1	○	〃	
	英語 X D	後 藤 万 里 子	1	○	〃	
	情報社会学	安 河 内 恵 子	1	○	上級グローバル教養科目 (GE コース科目)	
	ネットワーク経済学	大 石 英 貴	1	○	〃	
	言語学特論	平 山 仁 美	1	○	〃	
	環境学特論	大 田 真 彦	1	○	〃	
	多文化共生特論	加 藤 鈴 子	1	○	〃	
	国際関係特論	大 山 貴 稔	1	○	〃	
	スポーツ情報学特論	山 田 雅 之	1	○	〃	
	SDGs 特論	大 田 真 彦	1	○	〃	
	ダイバーシティ特論	東 野 充 成	1	○	〃	
	経営戦略特論	坂 本 比 呂 志	1	○	〃	
	大学院海外研修 I	大 学 院 委 員	1	○	GCE 実践科目 (GE コース科目)	
	大学院海外研修 II	大 学 院 委 員	2	○	〃	
	大学院海外インターンシップ実習 I	大 学 院 委 員	1	○	〃	
	大学院海外インターンシップ実習 II	大 学 院 委 員	2	○	〃	
	大学院国際協働演習	大 学 院 委 員	1		〃	
	企業課題解決型実践演習	梅 吉 荒 國 田 木 近 政 隆 俊 秀	信 一 輔 信	2		
	選択英語 1 T	長 瀬 真 理 子 長 瀬 真 理 子 田 島 健 太 郎	真 理 子 真 理 子 健 太 郎	1		
	選択英語 2 T	長 瀬 真 理 子 長 瀬 真 理 子 田 島 健 太 郎	真 理 子 真 理 子 健 太 郎	1		
	選択英語 3 T	長 瀬 真 理 子 長 瀬 真 理 子 田 島 健 太 郎	真 理 子 真 理 子 健 太 郎	1		
	選択英語 4 T	長 瀬 真 理 子 長 瀬 真 理 子 田 島 健 太 郎	真 理 子 真 理 子 健 太 郎	1		
	講究	各 指 導 教 員		2		必修
	実験演習	各 指 導 教 員		2		必修
指導型演習	各 指 導 教 員		2		必修	
企業実習 I	各 指 導 教 員		1	○	注：博士後期課程のみ対象	
企業実習 II	各 指 導 教 員		2	○	〃	
特別講究	各 指 導 教 員		2	○	注：博士後期課程のみ対象 必修	
特別実験演習	各 指 導 教 員		2	○	〃	

注：グローバルエンジニア養成コース(GE コース)の修了要件は、別途、グローバルエンジニア養成コース履修課程表を確認すること。

## (3) 社会駆動プログラム (注: 博士後期課程は副専門科目)

区分	科目名	教育職員	単位	博士後期課程	備考
AI応用コース	AIの諸問題	久保山 哲 二	1	○	
	ビッグデータ処理特論	有 村 博 紀	1	○	
	情報可視化特論	栗 山 繁	1	○	
	知能情報概論	宮 野 英 次 ほ か	1	○	
	AI医療・創薬概論	山 西 芳 裕 竹 本 和 裕 本 和 裕 広	2	○	
金融・流通コース	並列分散アルゴリズム	藤 原 暁 宏 柴 田 宏 拓	2	○	
	暗号理論	荒 木 俊 輔	1	○	
	サイバーセキュリティ	荒 木 俊 輔 ほ か	1	○	
	フィナンシャルテクノロジー	藤 原 暁 宏	1	○	
	ブロックチェーン	荒 木 俊 輔 ほ か	1	○	
ソフトウェア開発プロセスコース	パーソナルソフトウェアプロセス I	梅 田 政 信 片 峯 恵 一 荒 木 俊 輔 日 下 部 茂	2	○	
	パーソナルソフトウェアプロセス II	梅 田 政 信 片 峯 恵 一 荒 木 俊 輔 日 下 部 茂	1	○	
	チームソフトウェアプロセス I	梅 田 政 信 片 峯 恵 一 荒 木 俊 輔 日 下 部 茂	2	○	
	チームソフトウェアプロセス II	梅 田 政 信 片 峯 恵 一 荒 木 俊 輔 日 下 部 茂	1	○	
画像認識コース	画像認識特論 CR	齊 藤 剛 史	2	○	
	動画像処理特論 CR	榎 田 修 一	2	○	注: 「動画像処理基礎」または「動画像処理特論 CR」のいずれか一方のみ単位修得可
	イメージ解析特論 CR	徳 永 旭 将	2	○	
	デジタル画像処理特論 CR	安 永 卓 生	2	○	

区分	科目名	教育職員	単位	博士後期課程	備考
ロボティクスシナシス導入コース	インテグレーション実践演習Ⅰ	林西大大 田屋竹 英祐勝 治也敬博	1	○	注：インテグレーション実践演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、チームマネジメント実践演習から3単位以上修得すること
	インテグレーション実践演習Ⅱ	林西大大 田屋竹 英祐勝 治也敬博	1	○	
	インテグレーション実践演習Ⅲ	林西大大 田屋竹 英祐勝 治也敬博	1	○	
	チームマネジメント実践演習	林西大大 田屋竹 英祐勝 治也敬博	1	○	
	最適化理論特論 RS	延山英 沢	2	○	
	ロボスト制御特論 RS	瀬部昇	2	○	
	動画像処理特論 RS	榎田修一	2	○	
	群ロボット工学特論 RS	藤澤隆介	2	○	
	ロボスト安定論特論 RS	伊藤博	2	○	
	制御系 CAD 特論 RS	古賀雅伸	2	○	
	ヒューマン・インターフェース RS	大橋健	2	○	
	ロボットセンサ処理特論 RS	田中和明	2	○	
	システムデザイン特論 RS	小林順	2	○	
知的ロボット制御特論 RS	大竹博	2	○		
ロボティクス設計特論 RS	林英治	2	○		
非線形システム特論 RS	中荃隆	2	○		
エンジニアリング計算力学コース	計算力学特論	石原大輔	2	○	
	エネルギー原理と有限要素法特論 CA	二保知也	2	○	
	CAE 特論 CA	石原大輔	2	○	
大規模計算科学実践コース	並列コンピューティング特論	南里豪志	1	○	
	不確定性対応システム特論	小林泰三	1	○	
	大規模流体音響解析特論	高橋公也	1	○	
	分子シミュレーション特論	松本正和	1	○	
	メカノインフォマティクスシミュレーション特論	永田哲史	1	○	
	医療情報特論	徳森謙二	1	○	
	ファーマコインフォマティクスシミュレーション特論	小森寺正大 明輔	1	○	
アントレプレナーシップコース	アントレプレナーシップ入門	田倉中田 保博 成之	1	○	
	アントレプレナーシップ演習	田倉中田 保博 成之	1	○	
	プロジェクトマネジメント演習 ES	片峯田 恵政 一信 朝 稲 啓 太	2	○	
	ビジネス・人・社会のモデリング ES	中谷多哉子	2	○	
	デザインシンキング入門演習	中藤良久	2	○	注：工学府との合同開講科目
	ビジネスプラン演習	中藤良久	2	○	〃

区分	科目名	教育職員	単位	博士後期課程	備考
情報教育支援	学習工学特論	國 近 秀 信	2	○	
	情報教育の理論	西 野 和 典 池 田 勇 子 山 崎 由 美	2	○	
	支援士実習	江 本 健 斗	2	○	
生命体工学	人間知能システム概論	堀 尾 恵 一 ほか	2	○	注：生命体工学研究科との合同開講科目
	グリーンイノベーション概論	渡 邊 晃 彦 ほか	2	○	〃
	ライフイノベーション概論	玉 川 雅 章 ほか	2	○	〃
国際エンジニアリング共同講義	国際エンジニアリング共同講義Ⅰ	鈴 木 恵 友	1	○	
	国際エンジニアリング共同講義Ⅱ	鈴 木 恵 友	1	○	
	国際エンジニアリング共同講義Ⅲ	ホルスト シュテファン	1	○	
	国際エンジニアリング共同講義Ⅳ	ホルスト シュテファン	1	○	
	国際エンジニアリング共同講義Ⅴ	瀧 脇 正 樹 カチョーニルンアンハート	1	○	
	国際エンジニアリング共同講義Ⅵ	伊 藤 高 廣	1	○	
需要創発	大学院実践演習Ⅰ	安 永 卓 生	2	○	
	大学院実践演習Ⅱ	安 永 卓 生	2	○	
	大学院実践演習Ⅲ	安 永 卓 生	2	○	
マイクログロ化技術実践コース	システム LSI 設計論 MP	中 村 和 之	2	○	
	マイクロシステム特論 MP	馬 場 昭 好	2	○	
	半導体トピックセミナー	中 村 和 之	2	○	
	集積回路作製実習	馬 場 昭 好	2	○	
	情報工学実践セミナー	各 指 導 教 員	1	○	注：博士後期課程のみ対象

#### (4) 情報工学導入プログラム

(イミгранト科目：情報を専門分野としない大学や学部等からの入学者，社会人対象)

区分	科目名	教育職員	単位	博士後期課程	備考
情報工学導入プログラム	プログラミング	乃 万 司	2		
	プログラム設計	嶋 田 和 孝	2		
	計算機システムⅠ	江 本 健 斗	2		
	計算機システムⅡ	八 杉 昌 宏	2		
	データベース	尾 下 真 樹	2		
	情報工学概論	碓 崎 賢 一	1		
	情報セキュリティ概論	光 來 健 一	1		

別表 2 (第 3 条関係)

## 大学院情報工学府博士課程履修基準表

## 【博士前期課程】

科目区分	履 修 基 準	
基礎科目	6 単位以上	
対象分野科目	専門深化プログラム	11 単位以上 (1 単位以上の演習科目を含める) 注：履修するコースを選択すること。
	GE プログラム	10 単位以上 注：講究, 実験演習及び指導型演習は必修
	社会駆動プログラム	6 単位以上 注：履修するコースを選択すること。
修了要件単位数		33 単位以上

## 【注意事項】

1. 専門深化プログラム, 社会駆動プログラムは, 選択した各コース内の授業科目を履修すること。
2. 選択した専門深化プログラムのコースに含まれない授業科目を履修する場合は, 2 単位を限度として当該プログラムの修了要件に含めることができる (別途, 所定の手続きが必要)。
3. 情報を専門分野としない大学や学部等からの入学者, 社会人については, 上記の修了要件単位数に加え, 既修得科目に対する情報工学導入プログラムの認定を行い, その不足分をイミグラント科目から 8 単位を上限に修得すること。

## 【博士後期課程】

科目区分	履 修 基 準	
基礎科目	2 単位以上	
対象分野科目	GE プログラム	6 単位以上 注：特別講究, 特別実験演習は必修
	副専門科目	2 単位以上
修了要件単位数		10 単位以上